

# みなとまち新潟 歴史探訪 36

問 歴史文化課  
☎025-385-4290

## 新潟海岸と海岸砂防林～松林の始まり

江戸時代の新潟は、海岸の砂丘地特有の問題を抱えていました。季節風による飛砂の被害です。砂丘に近い寄居村は特に被害が大きく、宝永・正徳年間(1704～16)のころには村の大半が砂で埋まり、人が住めない状態でした。農作物も被害を受け、村は移転を余儀なくされました。風下の新潟町でも、寺院や民家に砂が吹き込むほどでした。

飛砂の対策として実施されたのが松などの植林です。樹木が根付くことで風が弱まり、砂が飛ぶのを防ぎました。新潟町では長岡藩領時代の宝暦年間(1751～64)ごろに植林が本格化し、天保14(1843)年に幕府領になった後も新潟奉行を中心に継続されました。初代奉行の川村修就は植林範囲を広げ、嘉永2(1849)年までに植えた苗木は約2万6千本に達しました。また、砂防事業を担う役職を奉行所内に新たに設け、対策を強化しました。

飛砂の克服は砂丘地新潟の悲願であり、植林は近代以降も続きました。現在も新潟海岸に広がる松林は、新潟の人々と砂との闘いの証でもあるのです。



「新潟海浜松苗木植付場所図」(部分、新潟市歴史博物館蔵) 修就が植林を行った様子を描いている



現在も海岸沿いに広がる松林は「日本の白砂青松100選」に選ばれている(写真は中央区関屋付近)



# 新連載 みんなで応援 食べよう 贈ろう 新潟の地産品 ①

問 食と花の推進課(☎025-226-1864)

JA新潟みらい しろね果樹部会青年部  
なし代表 遠藤 征児さん

10代以上続く農家で、8年前に本格的に家業を引き継ぎました。日本ナシの幸水、豊水、あきづき、新高、新興をそれぞれ旬の時期に合わせて栽培しています。

「品種ごとに、一本一本の木や天候に合わせて実の数を調整するなど、大きさをそろえながらおいしさを追求しています」と遠藤さん。

ナシを食べるときは、切ってから冷蔵庫に入れて30分から1時間ほど冷やすのがおススメ。「皮ごと実の下側を食べると本来の甘さが分かるので、挑戦してほしい」といいます。

「8月から12月まで、その時の旬の品種がお店に並びます。品種ごとに個性が違うので、ぜひ品種ろえが変わるごとに味わってほしいですね」と笑顔で話してくれました。



▲日本ナシのほか、西洋ナシ「ルレクチエ」も栽培しています



▲幸水を保存する場合は冷蔵庫の野菜室へ。ほかの品種は日陰で常温保存。1週間以内に食べましょう。写真は新高

# おでかけナビ

日日時 対象 定員 参加費 申し込み

**水の駅「ビュー福島島」**  
北区前新田 ☎025-387-1491  
開館時間9:00～17:00 ※月曜(祝日の場合翌日)休館

●日本自然科学写真協会写真展  
8/30(日)まで  
¥入館料(一般400円、小・中学・高校生200円)

**新潟市美術館**  
中央区西大畑町 ☎025-223-1622 開館時間9:30～18:00  
※8/7(金)まで、月曜(祝日の場合翌日)休館

●企画展「式場隆三郎 脳室反射鏡」  
8/8(土)～9/27(日) ¥一般1,000円、高校・大学生800円 ※中学生以下、障がい者手帳を持つ人と一部の介助者無料。このほか別冊情報ひろば2面に関連講座を掲載

●コレクション展Ⅱ  
ピカソ、新潟ゆかりの作家・末松正樹、佐藤哲三の作品を展示  
12/6(日)まで  
¥一般200円、高校・大学生150円 ※企画展観覧券で観覧可。8/22(土)14:00から展示解説を実施



佐藤哲三《少女》1941年

**文化財センター**  
西区木場 ☎025-378-0480 開館時間9:00～17:00  
※月曜(祝日の場合翌日)休館

●企画展「近世新潟町展2」  
9/6(日)まで ¥無料  
※このほか別冊情報ひろば2面に講座を掲載

**新津美術館**  
秋葉区蒲ヶ沢 ☎0250-25-1300 開館時間10:00～17:00  
※あす3日、8/11(火)・17・24、9/7(月)～18(金)休館

●企画展「不思議の国のアリス展」  
9/6(日)まで ¥一般1,200円、高校・大学生700円 ※中学生以下、障がい者手帳を持つ人と一部の介助者は無料  
●コレクション展Ⅱ「絵の中のミステリー！」  
9/27(日)まで ¥無料

**史跡古津八幡山 弥生の丘展示館**  
秋葉区蒲ヶ沢 ☎0250-21-4133 開館時間10:00～17:00 ※月曜(祝日の場合翌日)休館

●企画展「古津八幡山遺跡発掘調査速報展2」  
9/6(日)まで ¥無料  
※8/16(日)13:00に展示解説を実施

●土器発掘体験  
9/26(土)9:30～12:00 対小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴) 定10人 ¥無料  
9/5土曜(必着)までに往復はがきに催し名、代表者の郵便番号・住所、参加者全員(4人まで)の氏名(ふりがな)・電話番号を記載し、〒956-0846、秋葉区蒲ヶ沢264、同館へ ※応募多数の場合抽選。結果を9/12までに発送

**會津八一記念館**  
新潟日報メディアシップ5階 ☎025-282-7612 開館時間10:00～18:00 ※月曜(祝日の場合翌日)休館

●新収蔵品展～新たなる発見  
9/22(祝)まで  
¥一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円 ※土・日曜、祝日は小・中学生無料。8/9・23(日)11:00に展示解説、8/18(火)14:00に作品鑑賞会を開催

**歴史博物館みなとぴあ**  
中央区柳島町2 ☎025-225-6111 開館時間9:30～18:00 ※月曜(8/10除く)休館

●企画展「『潟の暮らし』展」  
8/23(日)まで  
¥一般500円、高校・大学生300円  
※8/11(火)～15(土)13:00に展示解説を実施  
●講座「大庄屋制を支えたもの～新発田藩領の場合」  
8/23(日)13:30～15:00 定先着40人  
¥100円 申8/5(水)9:00からメール(museum@nchm.jp)で催し名、住所、氏名、電話番号を同施設へ

**新津鉄道資料館**  
秋葉区新津東町2 ☎0250-24-5700 開館時間9:30～17:00 ※火曜(8/11除く)休館

¥一般300円、高校・大学生200円、小・中学生100円 ※8/31(月)まで中学生以下無料  
●展示「魅惑の鉄道切符」  
8/17(月)まで  
●実物車両スタンプラリー  
8/30までの土・日曜、祝日  
●鉄道車両写真展  
8/22(土)～10/19(月)  
●実物車両客室公開  
8/23(日)10:00～11:30、13:00～15:30



**新型コロナウイルスの影響による施設の休館・再開などの状況**  
市の施設の休館・再開や市が主催・共催するイベントなどの中止・延期などの状況を市ホームページに掲載しています。詳しくは担当課や施設などに問い合わせください。



「新しい生活様式」を実践しよう

